



写真上 本町を訪れた小澤孝延さん(左から2人目)と山本樹さん(左端)から食材を受け取った土屋教育長ら
写真下 頂いた食材は給食となり、町内の子どもたちに元気を与えました。

子どもたちに勇気と元気を

千葉県八街市の市民や農業、商工関係者で組織する、被災地復興八街市民会議(小沢定明代表)は5月22日、町内の児童や生徒に食べてほしいと学校給食用の食材を寄贈しました。

同会議では「八街特産農産物を被災地の児童生徒へ送ろうプロジェクト」を立ち上げ、この度の震災で被災した子どもたちに給食用の食材を送る活動をしています。今回の寄贈では「八街特産の農産物を食べて、被災した児童や生徒に勇気と元気を取り戻してほしい」との願いを込め、玉ネギ、大根、小松菜やニンジンなど、20品目約2トンの野菜などが贈られました。

土屋重憲教育長は「皆さんの取り組みに敬意と感謝を申し上げます。本日頂いた八街特産の農産物は、町内すべての学校で給食用の食材として利用させていただきます」と感謝を述べました。



写真上 吾妻小学校の紅白対抗リレー。学年の違う児童たちがチームワーク良くバトンをつなぎました
写真下 応援する保護者のほうも力が入りました。猪苗代小学校のつなひき

町内5小学校で歓声が響く

猪苗代・翁島・千里・緑・吾妻小学校の運動会は5月28日、各校で開かれ、子どもたちの歓声と保護者らの声援が校庭に響き渡りました。運動会の様子を写真で紹介します。

【猪苗代小】「ガッツ猪小 羽ばたけ紅白」をスローガンに、294人が21種目に挑戦しました。例年、運動会を盛り上げるPTAの競技の代わりに「騎馬戦」や「つなひき」などが会場を沸かせました。

【翁島小】「全力で 目指せ自分の 一等賞」をスローガンに、85人が28種目に汗を流しました。会場では、PTA役員が東日本大震災の募金箱を設置し、保護者や来賓などから募金を募りました。

【千里小】183人が17種目に取り組み、楽しそうな笑顔で競技に挑みました。伝統の「千里競輪」や「ちょっと！糸取ってきて！！」などに保護者から盛んな声援が送られました。

【緑小】「届けよう！緑っ子のがんばりを東北へ！！」

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO

自己記録目指し全力尽くす

北会津管内中学校体育大会陸上競技大会は5月16日、町運動公園陸上競技場で開催されました。

北会津管内中学校体育連盟、町教育委員会、磐梯町教育委員会の主催で開かれたこの大会には、猪苗代、磐梯両町の4中学校から、男女合わせて207人が出場。晴天の中、自己ベストを目指して全力を尽くす姿に、生徒や保護者から大きな声援が送られました。学校総合では、共通4×100mリレーなどを制した猪苗代中が男女とも優勝を果たしました。



写真上、左 走るイメージが強い陸上競技ですが、運動能力のほかに高い技術も要求されます。写真は男子共通走高跳と女子共通砲丸投げ
写真右 男子共通200m走で自己ベストを目指す選手たち



写真左上 「ゴール！」声援にこたえ、徒競走で全力を尽くした千里小学校の1年生たち
写真中上 翁島小学校の絆をたしかめ ラブちゅ〜にゅう。5、6年生の親子が仲良く二人三脚
写真中下 緑小学校の「紅白玉入れ1.2.3!」には1〜3年生が登場。勝利を目指して頑張りました。
写真右下 各学校で運動会のために裏方として頑張る児童の姿が見られました(写真はアナウンスを担当する児童：吾妻小)



をスローガンに88人が18種目に全力を尽くしました。最終種目の全校リレーでは、児童も保護者も大変な盛り上がりを見せました。

【吾妻小】「感動と笑顔いっぱい運動会〜震災に負けないで手をつなごう〜」をテーマに、119人が25種目に挑みました。「吾妻ハリケーン」や「I LOVE ふくしま」などで熱戦を繰り広げました。